

太鼓腹の老騎士に学ぶ“人生哲学”

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)） | 独立行政法人日本芸術文化振興会

藤原歌劇団創立 90 周年記念公演

総監督 折江忠道

G.ヴェルディ作曲

「ファルスタッフ」

Falstaff

オペラ全 3 幕 (字幕付き原語 (イタリア語) 上演) ニュープロダクション



2025 年 2 月 8 日 (土) 14:00 開演

愛知県芸術劇場 大ホール

【開場 13:00】 *13:15 から会場内にて作品解説をいたします。 ※上演時間：約 3 時間 (休憩含む)

- 主催：公益財団法人日本オペラ振興会 / 愛知県芸術劇場
- 助成：文化庁
- 後援：イタリア文化会館 / NPO 法人 日本ヴェルディ協会 / 日本シェイクスピア協会

本公演に関するお問い合わせ、および取材のお申込み

公益財団法人日本オペラ振興会 広報担当：中ノ森・外山
〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-5-8 西新宿豊国ビル 102
Tel: 03-6721-0995 / E-mail: press@iof.or.jp

「ウインザーの陽気な女房たち」が男性社会に物申す! ?

オペラの巨匠ヴェルディの終着点は、シェイクスピア原作の極上喜劇だった

藤原歌劇団創立 90 周年記念公演ラストを飾る演目は、悲劇作品でオペラ界を席卷した作曲家ヴェルディが、人生最後の作品として残した極上「喜劇」『ファルスタッフ』です。強欲で酒好きの老騎士ファルスタッフが、花を抱えて女性を口説き、川に落とされ、牡鹿の角を付け怯える姿は、なんとも滑稽で、しかしどこか憎めない愛されキャラ。そんなファルスタッフをめぐる女性陣が大活躍するのもこのオペラの魅力の一つです。

今回表題役を担うのは、藤原歌劇団が誇るヴェルディバリトン上江隼人。裕福な紳士で嫉妬深いフォードには岡 昭宏、ナンネッタは光岡暁恵、その恋人フェントンには中井亮一、フォードの妻アリーチェには山口佳子を配しました。その他個性的なキャラクターたちを演じる藤原歌劇団の錚々たる面々が、時任康文の指揮、岩田達宗の演出、今回初共演となる名古屋フィルハーモニー交響楽団の調べに乗って、今回 8 年目となる愛知県芸術劇場との共催でお届けいたします。

人生哲学満載の快活なストーリーと、オペラを極めたヴェルディの最上の音楽。全身が喜ぶ極上の体験をぜひ劇場で!

〈あらすじ〉

1400 年ごろ、イギリスのウィンザーという町でのお話。そこにはファルスタッフという太鼓腹の老騎士がいて、小悪党の従者と一緒にいろんな悪さをしていました。ファルスタッフは生活費を巻き上げるために女性たちに恋の手紙を送りますが、その画策がばれ、怒った女性たちは逆にファルスタッフをだます計画をたて、彼をテムズ川に落とします。ずぶぬれになり嘆くファルスタッフですが、再度女性たちから誘われて懲りずにウキウキ。今度は夜中にハーンの樫の木の下で、妖精に変装した人たちからかわれます。最後にはファルスタッフもみんなの策略がわかり、「この世はすべて冗談だ」と言って幕となります。

〈見どころ・聴きどころ〉

晩年のヴェルディが、「軽い題材でオペラを作りたい」と年若い友ボーイトに告げたところ、ボーイトは秘密裡に、太っちょ老騎士を主人公とする — シェイクスピアの喜劇『ウィンザーの陽気な女房たち』と『ヘンリー 4 世』に出てくる人物 — 台本を書き上げ、それを受け取ったヴェルディも喜んだ。結果、原作に比べてシンプルな筋立てになり、登場人物の数も半分に減った極上のオペラ・ブッファ《ファルスタッフ》が誕生。1893 年ミラノ・スカラ座での世界初演は大成功を収めた。

本作では、矢のように飛び交う言葉の応酬が、軽妙なリズムのもとでスムーズに運んでドラマの軽やかさを際立たせ、声の性格表現も、様々な声種を用いて追究。その一方で、第 2 幕のフォードの独白や、第 3 幕の恋人たちの 2 つのアリアは、「纏まった聴かせどころ」として明確に打ち出し、主人公の小アリア〈わしが小姓であったころ〉のような、「ロザさみやすい名旋律」も盛り込むなど、客席の耳に残るメロディを幾つも提供した。なお、本作は、ヴェルディとしては実に、50 数年ぶりの喜劇となったが、この作品で彼は、積年の思いを幾つも結晶させたようである。まずは、大先輩ロッシーニから言われたという「貴男は悲劇の方が向いている」を本作の成功で覆したこと。続いては、独人ニコライの嫌な思い出を — ニコライは自分が蹴った《ナブッコ》の台本で大成功したヴェルディを妬んだ — 払拭したこと。ヴェルディは、仇敵の代表作《ウィンザーの陽気な女房たち》を遥かに上回る成功を同じ題材の《ファルスタッフ》で収めて一矢報いたのである。そして最後に、本作の幕切れを見事なフーガで飾ったこと。かつて、ミラノの音楽院の受験時に「対位法が弱い」として不合格を喰らった自分が、自己研鑽を重ねた結果、「当代一の対位法の使い手」になったものと、彼は自ら世に知らしめた。

●チケット好評発売中!

S 席 ¥15,000 A 席 ¥12,000 B 席 ¥8,000 C 席 ¥5,000 D 席 ¥3,000 (税込)

・ヤング・フレッシュマンチケット

S席～C席：満25歳以下の方を対象に通常料金の半額でお申込み頂けます。(枚数限定)

・障がい者割引

S席～B席：通常料金の20%引きでお申込み頂けます。

お付き添いの方1名様は、通常料金の10%引きでご一緒にお申し込み頂けます。

藤原歌劇団創立90周年記念チケット

90周年記念フォトブック付きチケット：¥17,000 (S席¥15,000)

・藤原歌劇団90年間の舞台写真をダイジェストでお届けするオリジナルフォトブック(販売価格3,000)1冊付き

●お問い合わせ・予約

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日10:00～18:00)

【座席選択可・PC&スマートフォン】 <https://mmct.jcity.com/?c=68&e=nhfARdwvgIdEMBgpnTKT%3DQ11>

〈主要キャスト・スタッフプロフィール〉

指揮 時任康文

Yasufumi TOKITO

武蔵野音楽大学器楽科卒業後、東京音楽大学指揮科に学ぶ。指揮を紙谷一衛、汐澤安彦両氏に師事。在学中より二期会、日生劇場を中心に音楽スタッフとして小澤征爾氏、秋山和慶氏、若杉弘氏等のアシスタントを務める。1990年「東京の夏」音楽祭に於いて、カールマン作曲オペレッタ「チャールダッシュの女王」を指揮してデビュー。その後、数々のオペラ団体と共に、オペラの主な作品を指揮する。またオーケストラへの客演も多く、東京交響楽団、東京フィルハーモニー、日本フィルハーモニー、名古屋フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニー等を指揮し好評を博す。96年度文化庁派遣芸術家在外研修員として渡伊。N.サンティ氏のアシスタントとして、チューリッヒ歌劇場、メトロポリタン歌劇場等に行き研鑽を積む。01年、ウズベキスタン・カザフスタンに於いて、故園伊玖磨氏の意志を引き継ぎオペラ「夕鶴」を指揮。新国立劇場小劇場シリーズでC.オルフ作曲「賢い女」を指揮し好評を博す。東京オペラプロデュース公演にてV.ウイリアムス作曲オペラ「恋するサー・ジョン」の本邦初演を指揮。その後マルシュナー作曲「ヴァンパイア」、シャンパルティエ作曲「ルイズ」、ジョルダノ作曲「マダム・サンジェーヌ」、アルファード作曲「シラノ・ドゥ・ベルジュラック」、ジョルダノ作曲「戯れ言の饗宴」、レスピーギ作曲「バルファゴール」等の本邦初演オペラを指揮した。昭和音楽大学教授、武蔵野音楽大学講師、洗足学園音楽大学講師。



演出 岩田達宗

Tatsuji IWATA

東京外国語大学フランス語学科卒業。劇団「第三舞台」を経て、舞台監督集団ザ・スタッフに参加し、オペラの舞台製作にかかわる。1991年より栗山昌良氏に演出助手として師事。五島記念文化財団奨学生として98年より欧州各地で研鑽を積む。帰国後、本格的に演出家として活動を始め、新古典主義の作品から現代の日本オペラまで数多くの公演で高い評価を得る。日本オペラ協会では01年「キジムナー時を翔ける」でデビュー以降「葵上」「美女と野獣」「天守物語」「よさこい節」「夕鶴」等、藤原歌劇団では07年「ラ・ボエーム」で初演出以降「ラ・ジョコンダ」「ルチア」「夢遊病の女」「ラ・トラヴィアータ」「カルメン」「ドン・ジョヴァンニ」を手掛け、独創的で卓抜なアイデアによる舞台造りは聴衆を魅了し続けている。リモートによる講義「岩田達宗道場」が開講されるなど、現在日本を代表するオペラ演出家の一人である。07年よりいづみホール・オペラのプロデューサー、21年よりひろしまオペラルネッサンスの芸術監督を務めている。第7回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。06年度音楽クリティック・クラブ賞受賞。大阪音楽大学客員教授。昭和音楽大学講師。兵庫県出身。



ファルスタッフ役 上江隼人

Hayato KAMIE

東京藝術大学卒業、同大学大学院修了。2005年に第34回(財)江副育英会オペラ奨学生として、08年に明治安田クリオタイプ財団の奨学生として渡伊。06年ディマロの“Val di sole”イタリア音楽コンクール優勝。11年ヴェルディ・フェスティバル(パルマ王立歌劇場主催)「イル・トロヴァトーレ」のルーナ伯爵で国際的評価を得て、ブッセート、フィデンツァの両劇場にも出演。国内では、二期会公演をはじめ、新国立劇場「アンドレア・シェニエ」ルーシェ、NISSAY OPERA 2016「セビリアの理髪師」フィガロ、18年には新国立劇場開場20周年記念特別公演「アイーダ」アモナズロで出演し、好評を得た。藤原歌劇団には、19年「ラ・トラヴィアータ」のジェルモンで初登場し、同年「ランスへの旅」ドン・アルヴァーロ、「リゴレット」タイトルロール、「ラ・ボエーム」マルチェッロ、「ジャンニ・スキッキ」タイトルロール、「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、23年「二人のフォスカリ」フランチェスコ・フォスカリで出演。その他、21年新国立劇場「チェネレントラ」ダンディーニ、23年日本フィル「道化師」トニオでいずれも高い評価を得た。国内外で高い評価を得るバリトンの逸材として、注目を集めている。NHKニューイヤーオペラコンサートに連続出演するなど人気は高く、東京フィルを始めオーケストラとも共演を重ね、各種コンサートでソリストとしても活躍している。第24回五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。「上江隼人 バリトンリサイタル 2020」が令和2年度文化庁芸術祭新人賞を受賞。藤原歌劇団団員。千葉県出身。<https://www.hayatokamie.com>



フォード役 岡 昭宏

Akihiro OKA

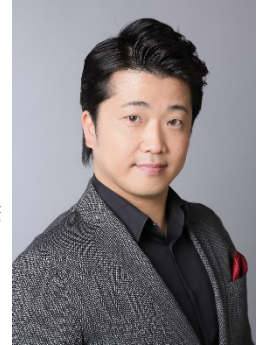
国立音楽大学卒業、東京藝術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所第10期生修了。平成22年度文化庁新進芸術家海外研修制度研修生として渡伊。第44回イタリア声楽コンクール第1位・シエナ大賞受賞。第12回東京音楽コンクール第1位及び聴衆賞受賞。第82回日本音楽コンクール第3位。第26回市川市文化財団新人演奏家コンクール最高位受賞。第29回練馬区新人演奏会オーディション最優秀賞受賞。10年パシフィック・ミュージック・フェスティバル（PMF）「ラ・ボエーム」のマルチェッロで世界的指揮者F・ルイーゼと共演。12年ジェノヴァにて「ドン・カルロ」のロドリゴでイタリアデビュー。藤原歌劇団には、16年「愛の妙薬」ベルコーレでデビューし、「道化師」シルヴィオ、「清教徒」リッカルド、「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、「ファウスト」のヴァランタンで出演。日本オペラ協会には、20年「紅天女」楠木正儀、22年「源氏物語」光源氏で出演。新国立劇場では、「サロメ」のカッパドキア人で出演し、同役（演奏会形式）でNHK交響楽団と共演。また、日生劇場開場55周年記念公演／ニッセイ名作シリーズ2018 モーツァルト・シリーズ「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、アトリオン音楽ホール・コンサートオペラ Vol.6「ラ・ボエーム」ショナール、東京芸術劇場コンサートオペラ vol.7「ジャミレ」スプレンドリアーノ、東京文化会館オペラ BOX「泣いた赤おに」青おに、「Help! Help! グロボリンクスだ！」トニー等に出演。2019年香川県芸術文化新人賞受賞。2020年よんでん文化芸術奨励賞受賞。藤原歌劇団団員。日本オペラ協会会員。香川県出身。<http://okaakihiro.wix.com/okaakihiro>



フェントン役 中井亮一

Ryoichi NAKAI

名古屋芸術大学声楽科首席卒業、同大学大学院修了。ミラノ・スカラ座音楽院オペラ研修所修了。07年スカラ座「コジ・ファン・トゥッテ」に合唱で出演した他、イタリア各地でオペラやコンサートに多数出演。07年 Rossini Opera Festival「ランスへの旅」ベルフィオーレに出演し好評を博す。藤原歌劇団では「タンクレーディ」アルジーリオ、「夢遊病の女」エルヴィーノ等のオペラやコンサートに出演し、15年「ファルスタッフ」のフェントンで好評を博した。その他各地で「ラ・ボエーム」「愛の妙薬」「魔笛」「セビリアの理髪師」等多数のオペラで活躍。また小林研一郎指揮／読売日本交響楽団「第九」をはじめ、「第九」「メサイア」「カルミナ・ブラーナ」などのソリストとしても20を超える作品に出演している。地域創造音楽活性化事業登録アーティスト。藤原歌劇団団員。



藤原歌劇団創立 90 周年記念公演
総監督 折江忠道
G.ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」
Giuseppe Verdi / Falstaff

オペラ全3幕 (字幕付き原語 (イタリア語) 上演) ニュープロダクション

【公演日程】 2025 年 2 月 8 日 (土) 14:00 開演

【会場】 愛知県芸術劇場

【チケット料金】 S 席/¥15,000 A 席/¥12,000 B 席/¥8,000 C 席/¥5,000 D 席/¥3,000 (税込)

【藤原歌劇団創立 90 周年記念チケット】

90 周年記念フォトブック付きチケット : ¥17,000 (S 席 ¥15,000)

・藤原歌劇団 90 年間の舞台写真をダイジェストでお届けするオリジナルフォトブック (販売価格 3,000) 1 冊付き

総監督	折江 忠道
General Artistic Director	Tadamichi ORIE
指揮	時任 康文
Conductor	Yasufumi TOKITO
演出	岩田 達宗
Stage Director	Tatsuji IWATA

ファルスタッフ	上江 隼人
Sir John Falstaff	Hayato KAMIE
フォード	岡 昭宏
Ford	Akihiro OKA
フェントン	中井 亮一
Fenton	Ryoichi NAKAI
アリーチェ	山口 佳子
Alice	Yoshiko YAMAGUCHI
ナンネッタ	光岡 暁恵
Nannetta	Akie MITSUOKA
メグ・ページ	古澤 真紀子
Meg Page	Makiko FURUSAWA
クイックリー夫人	松原 広美
Mistress Quickly	Hiroshi MATSUBARA
カイウス	所谷 直生
Dr Caius	Naoki TOKORODANI
バルドルフォ	井出 司
Bardolfo	Tsukasa IDE
ピストーラ	伊藤 貴之
Pistola	Takayuki ITO

合唱 藤原歌劇団合唱部 Fujiwara Opera Chorus Group
管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Nagoya Philharmonic Orchestra

合唱指揮 須藤 桂司
Chorus Master Keiji SUDO
美術 松生 紘子
Scenery Designer Hiroko MATSUO
衣裳 下斗米 大輔
Costume Designer Daisuke SHIMOTOMAI
照明 大島 祐夫
Lighting Designer Masao OSHIMA
振付 古賀 豊
Choreographer Yutaka KOGA
舞台監督 菅原 多敢弘
Stage Manager Takahiro SUGAWARA
副指揮 安部 克彦 / 玉崎 優人
Assistant Conductor Katsuhiko ABE / Masato TAMASAKI
演出助手 橋詰 陽子
Assistant Stage Director Yoko HASHIZUME

公演特設サイト <https://www.jof.or.jp/performance/2502-falstaff-aichi>

【お問い合わせ・予約】

日本オペラ振興会チケットセンター 03-6721-0874 (平日 10:00～18:00)

【お問い合わせ】

愛知県芸術劇場 052-211-7552 (10:00～18:00) contacto@aaf.or.jp

【チケット販売所】

- ・愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp/evdent/>
- ・愛知芸術文化センタープレイガイド 052-972-0430
平日 10:00～19:00 土日祝休 10:00～18:00 (月曜定休／祝休日の場合、翌平日)
- ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード: 267-160)
- ・イープラス <https://eplus.jp>
- ・ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 45103)
- ・teket <https://teket.jp/9911/37379> ※電子チケット

〈あらすじ〉

第1幕

ヘンリー四世が治めるイングランド王国のウィンザー。

〔第1場：宿屋ガーター亭にて〕

太っちょの老騎士ファルスタッフ（Br）と、使用人のバルドルフォ（T）、ピストーラ（B）の前に医師カイウス（T）が現れ「お前の使用人2人は泥棒だ！」と老騎士に詰め寄るが、あっさりと追い返される。宿屋の主人（黙役）が請求書を出すと、ファルスタッフは「金がないから市民層の金持ちの細君を誘惑してやれ」と計画。バルドルフォにはフォード夫人アリーチェ（S）へのラヴレターを言付け、ピストーラには別の男の妻メグ（Ms）に宛てた手紙を渡す。使用人たちは「恋文を取り持つなど、沽券にかかわる！」と拒む。ファルスタッフは怒り、二人を追いかける。

〔第2場：フォード邸の庭〕

アリーチェとメグは手紙をそれぞれ受け取るが、たまたま「文面が全く同じ」と知り、「これは許せないわ」と言って、友人クイックリー夫人（Ms）とアリーチェの娘ナンネッタ（S）と四人で、「あの太っちょを罰してやる！」と決意。一方、バルドルフォとピストーラは、紳士フォード（Br）に主人の企みを密告する。そこでフォードは変装してファルスタッフのもとを訪れ、彼を出し抜こうとする。一方、ナンネッタには恋人の青年フェントン（T）がいるが、父のフォードは年上のカイウスと娘を結婚させると決め、ナンネッタは嫌がっている。ここで、一同の歌声が二組のアンサンブルになり、悪戯の仕返しを考える女たちと、目論見好き好きに述べる男たちの声が、巧妙に絡み合う。

第2幕

〔第1場：ガーター亭の一室〕

ファルスタッフのもとに、フォードの命を受けたうたちが舞い戻り、低姿勢で「再びお仕えしたい」と述べる。そこにクイックリーがアリーチェからの使者として登場。二重唱〈ご機嫌よろしゅう〉で大仰な挨拶を繰り返したのち、「アリーチェさんは、午後2時から3時までならお宅で独りですよ」と耳打ちする。ファルスタッフは喜び、ソロ〈行け！老練なるジョンよ！〉と自分に気合を入れていると、変装したフォードがフォンターナという偽名で現れ、「自分はアリーチェさんに恋をしているが、彼女の貞操は堅い」と述べ、「お金を払うので、貴方に彼女の頑なさを解きほぐして貰いたい」と頼む。するとファルスタッフは「実は、今日の2時から彼女と逢引きの予定でした」と伝え、着替えすべく別室に向かう。残されたフォードは愕然とし、モノローグ〈夢か現か〉を歌うが、戻った老騎士の前では何とか平静を取り繕い、一緒に宿屋を出てゆく。

〔第2場：フォード邸〕

夫人たちは計画を巡らす、父親から「カイウスと結婚せよ」と言われるナンネッタは不安に駆られるのみ。でも、「そんなことはさせないわ」と皆で安心させる。老騎士が到着し、小アリア〈わしが小姓であった頃〉を口ずさみ、アリーチェを口説こうとするが、メグが飛び込んできて「ご主人が帰ってきたわ！」と告げるので、ファルスタッフは大きな洗濯籠の中に隠れる。物陰ではナンネッタとフェントンが抱き合うが、フォードと配下の者は家じゅうを探し回り、結果、物陰に居た恋人たちを見つけてしまう。それでひと騒動になるが、その隙に、女たちは洗濯籠を窓からテムズ川に落とすことに成功。大きな水音に一同は笑い声をあげる。

第3幕

〔第1場：ガーター亭の前〕

ずぶ濡れになったファルスタッフは嘆くが、ワインが体を温め、元気を取り戻す。クイックリー夫人が現れるので、彼は怒りを爆発させるが、夫人に再び言いくるめられて、今度はアリーチェと真夜中に公園で逢引きすると承諾する。一方、フォードは妻を疑ったことを詫び、女たちと共に太っちょの老騎士を罰するべく、「お化け話に絡んだ計画で懲らしめよう」と話す。そこでナンネッタは妖精の女王に変装することになるが、フォードはカイウスに僧侶の衣裳を着せ、どさくさに紛れて二人を結婚させてしまおうと企む。しかし、その言葉を耳にしたクイックリーが、そうはさせまいと急いで場を離れる。

〔第2場：月明りが照らす公園。大きなオークの木の下〕

フェントンが現れ、恋の喜びを**アリア〈唇から喜びの歌が〉**を歌う。ナンネッタと夫人たちも到着し、フェントンも僧侶の姿に変装させ、フォードの計画を阻むことにする。ナンネッタは妖精の女王の姿で**アリア〈夏のそよ風吹く上を〉**を歌いながら闇に隠れる。ファルスタッフが現れてアリーチェと言葉を交わすが、変装した人々が彼をこづくので呻き声をあげる。しかし、バルドルフォが自分を叩いていると気づいたファルスタッフは、俄然勢いを取り戻し、怒鳴りちらす。しかし、フォードが自分の正体を明かすので、ファルスタッフは報いを受けたことを悟る。フォードは「この場で結婚式を開く」と宣言し、僧侶姿のカイウスと妖精の女王が入場。すると、仮装した別のカップルが現れ、アリーチェのとりなしで、彼らも式を挙げてもらう。

しかし、蓋を開けてみると、カイウスの相手は女装したバルドルフォ、もう一組はナンネッタとフェントンと分かる。そこでフォードは紳士らしく鷹揚さを見せ、全てを認めるので物語は大団円に。ファルスタッフが音頭を取り、締め括りの**フーガ〈世の中みんな冗談だ！〉**を全員で歌い上げ、華々しく幕を下ろす。

(岸 純信)